

令和 2 年 12 月 8 日  
水産部 水産加工流通課  
(担当：中村・瀬川)

安全安心な養殖生産物の供給体制確立事業にかかる  
養殖カキのノロウィルス検査の結果について

安全安心な養殖生産物の供給体制確立の一環として、本県では今年度も標記事業に基づく「養殖カキのノロウィルス検査」を実施しています。

つきましては、令和 2 年 11 月に実施した養殖マガキの検査結果を下記のとおりお知らせします。

なお、今後の検査結果についても適宜お知らせします。

記

検査内容：ノロウィルス検出の有無

検体数及び検体採取日

5 検体、11 月 10 日、12 日、17 日（2 件）、27 日

採取海域：西彼・大村湾海域（2 検体）、上五島海域（1 検体）、有明海（1 検体）、県北海域（1 検体）

検査機関：一般財団法人 広島県環境保健協会

検査方法：平成 15 年 11 月 5 日付け厚生労働省医薬食品局の課長通知に基づく定性 PCR 法（※）

検査結果：いずれも「陰性」

（※）定性 PCR 法

ポリメラーゼ連鎖反応（PCR）をベースにした DNA 分析方法のひとつで、遺伝子組み換え食品の検査やウィルス・病原菌等の検出に用いられている方法